

NPO紹介シート

作成日 平成19年7月25日

作成者 菅優子

子ども

法人格	フリガナ	ホシノクラブ	フリガナ	カン ユウコ	団体設立日	平成14年5月1日			
無	団体名	星の子クラブ	代表者名	菅 優子	法人設立日				
活動地域	松山市内		正会員	賛助会員	事務局	ボランティア			
主たる活動の種類	子どもの遊び場づくり		個人	14人	有償	有償			
従たる活動の種類			団体		無償	1人	無償 25人		
所在地	〒790-0922 松山市星岡三丁目18番4号		単位千円	収入合計	会費	寄附金	自主事業	委託事業	助成金
TEL	089-957-6821	18年度	204	14	74	58			58
FAX	089-957-6821	17年度	2,157	10	50	179			1,918
Eメール	hosi0922ko@yahoo.co.jp	16年度	404	10	25	62			307
ホームページアドレス	http://www.geocities.jp/hosi0922ko/								

*下記は、箇条書きでわかりやすくご記入ください。

団体設立のきっかけ	自己評価
<p>子どもが引き起こすいじめや不登校やその他の悲しい事件の背景には、子どもたちが子どもの時代に十分に遊べていないことが大きな原因の一つだと痛感し、子どもたちが異年齢の仲間との豊かな遊びを通じて、体力や創造力、社会性などの生きる力を育み合うことができる遊び場を地域に創りたいと感じたから。</p>	<p>(各32点満点)</p> <p>評価指標は千葉県「NPO家計簿」より</p>
今、力を入れている活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場づくりの重要性を伝える啓発活動 ・イベントではなく子どもが自由に自然に遊べる環境づくり ・他団体との交流 ・ジュニアスタッフの養成 	
主な活動実績	
<p>平成14年5月設立し、毎月1回の活動からスタート。現在の活動は以下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所『星の子クラブ』、毎週土曜日午前中開催 (毎月1回テーマを決めた遊び、他は自由遊び) ・未就園児と保護者の居場所『星の子キッズ』、毎週2回午前中 (参加者自主運営、自由遊びとお楽しみ会) ・スタッフ講習、年5回(救急法、危険予知、室内外の遊び講習、遊び場づくりなど) ・遊び場づくりネットワーク (ホームページでの子どもの遊びの実態と要望調査結果公開、星の子クラブの活動紹介) <p>助成金活動 H14:愛媛新聞社愛ウェブ、H15:松山市社会福祉協議会ボランティア助成、H16:独立行政法人国立オリンピック記念青少年センターゆめ基金、H17:独立行政法人社会福祉医療機構子育て支援基金、H18:松山市男女共同参画推進財団、H19:キリン福祉財団</p>	

NPO連携シート

団体の目的・目標	団体の強み(長所)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 異年齢の子どもたちが遊びを通して育ち合うことができる機会と場所を地域で保障する。 ・ ボランティアスタッフが関わることで、子どもたちが安心して集まり豊かなあそびを作り上げる環境を創る。 ・ 地域、団体、個人が連携し男女共同し、地域全体で子どもたちの遊びと仲間作りを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校や大学のボランティア部、子育て支援団体、町内会など多くの団体が活動を支援している。 ・ 遊び場立ち上げに関するノウハウを持っている。 ・ 子どもの遊びのプログラムの蓄積がある。 ・ 遊び場の危機管理に関するマニュアルがある。 ・ 愛媛県の子どもの遊びの実態と要望調査結果を持っている。
<p>今後、団体に必要だと思われること・モノなど</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続して活動を続けていくための高校生スタッフの養成。 ・ 児童心理など精神的な支援に関するスキルアップ。 ・ 他の地域での遊び場づくりに関する団体との情報交換や協働。 ・ 子育て支援に関わる他団体との情報共有や協働。 	
<p>どんな団体と？どんな風に？（アイデア程度でいいです）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童心理に関する講習を行える団体（カウンセリングマインドなどの講習会） ・ 高校、大学のボランティア部（スタッフの養成） ・ 他地域で遊び場づくりを行う団体（情報交換、協働） ・ 子育て支援団体（子どもの情報を共有できるネットワーク作り） 	

NPO自己評価チェックリスト

出展:千葉県「NPO家計簿フォーマット」より

このチェックリストは、みなさんが自分たちの団体を振り返り、よりよい活動にしていくための指標です。
また評価内容を公開することで、団体の透明性が増し、市民の信頼を得ることができます。
点数は1:できていない 2:あまりできていない 3:まあまあできている 4:できている です。

1. 課題・ニーズを発見する力	合計:	26
◆様々な手法による課題・ニーズの把握		
1) 参加者、利用者の方々と話をして情報収集をしている。		3
2) 課題やニーズを把握するためのアンケート等の調査をしている。		3
3) 地域や他の団体、関係機関との意見交換や交流の場を設けている。		3
4) 行政、または新聞、書籍、テレビなどのマスメディアから情報収集をしている。		3
◆課題・ニーズを把握するための環境		
1) 課題やニーズを調査するための人材や環境が整っている。		3
2) 課題やニーズを発見するためのネットワークや仕組みを持っている。		3
3) 課題やニーズについて得た情報について、団体で話し合っている。		4
4) 課題やニーズについて得た情報を事業に活かしている。		4

2. 広報を活かす力	合計:	23
◆様々な手法による広報活動		
1) 機関紙、ホームページ等で団体の活動を紹介している。		4
2) 行政が発行する広報誌や新聞、テレビ等のマスメディアを活用している。		3
3) 様々な行事やイベント等に参加して、団体の活動をPRしている。		2
◆広報の対象についての調査、活用		
1) 伝えたい対象者がはっきりわかっている。		4
2) 伝えたい対象者について、事前に情報を収集している。		3
3) 得た情報や調査の結果が、広報をするときに効果的に反映されている。		3
◆広報結果の調査、整理		
1) 広報をした結果について振り返りなどの調査をしている。		2
◆広報活動の環境		
1) 広報に関する仕事ができる専門家やスタッフがいる。		2

3. 組織を育てる力	合計:	26
◆人材の受け入れ、育成		
1) 事業に参加を希望する人を受け入れている。		4
2) スタッフや新人が研修するための機会を、組織内外において設けている。		4
◆組織全体で進める体制		
1) 理事会と現場のスタッフとの意思の疎通や連携がうまく取れている。		3
2) スタッフ全員で団体の課題や事業等について定期的に話し合っている。		3

◆外部力の導入、活用

- | | |
|---|---|
| 1) 分野の異なる団体や企業が開催しているフォーラム等の集まりに参加している。 | 2 |
| 2) 地域や他の団体等と勉強会や研修会をしている。 | 3 |
| 3) 外部の人を積極的に活用している(インターンシップ等) | 3 |

◆仕事を行う環境

- | | |
|--|---|
| 1) スタッフやボランティアが安心・安全に活動できる制度(保険等)が整っている。 | 4 |
|--|---|

4. 事業を推進する力 合計: 22

◆目標や計画の設定、立案

- | | |
|---|---|
| 1) 団体のビジョン、社会的な役割、活動の将来像が描かれている。 | 3 |
| 2) 目標を実現するための事業について具体的な目標や実施計画が立てられている。 | 3 |

◆取り組みの姿勢、実施体制

- | | |
|---|---|
| 1) 目標や計画の設定、立案が団体内で理解、共有化され、
実現に向けて組織全体で取り組んでいる。 | 2 |
| 2) 事業の企画、運営管理、総務(労務、経理)についてよくわかる人がいる。 | 4 |
| 3) 事業を進める上で、多様なネットワークからの支援、協力を求めることができる。 | 3 |

◆事業評価、分析、活用

- | | |
|--|---|
| 1) 計画と実績の、経費バランスの評価、検証ができています。 | 3 |
| 2) 費用対効果を含めた事業の成果について全体で検討し、改善、活用している。 | 2 |
| 3) 外部からの意見、要望、問い合わせ、クレーム等を事業へ反映させている。 | 2 |

5. 財源を生み出す力 合計: 18

◆経営の安定化を図る活動

- | | |
|---|---|
| 1) 事業づくりのための営業的活動や企画提案等をしている。 | 2 |
| 2) 安定した収益を得るための基盤となる会員拡大や事業づくりに取り組んでいる。 | 2 |

◆事業の創出、財源確保の手法

- | | |
|---|---|
| 1) 他の団体、または企業との連携や協働事業に取り組んでいる。 | 3 |
| 2) 企業や行政等が実施する公募事業(委託事業等)に応募している。 | 1 |
| 3) 行政、企業、市民等による補助金、支援金を活用している。 | 4 |
| 4) 財源を確保するために団体独自の方法がある。 | 1 |
| 5) 様々な地域資源(ヒト、モノ、カネ、情報、文化、産業など)を活用している。 | 4 |

◆専門機関の活用

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1) 団体経営や事業の運営等について中間支援団体や専門家に相談している。 | 1 |
|--------------------------------------|---|